

降誕節第6主日

主日家庭礼拝順序

頌 栄 28

交読詩編 詩編78:17~29

讚美歌 403(1節)

聖書 マタイによる福音書5:17~20

説教 「教えるキリスト」

祈り

使徒信条 93-4A

讚美歌 459(1節)

主の祈り 93-5A

■家庭礼拝の守り方

時間になりましたら、静かに心を整えて黙禱し、礼拝順序に合わせて礼拝を守りましょう。同じ時に、主にある兄弟姉妹と共に礼拝している事を思いながら礼拝を捧げましょう。

頌栄 最初に神様に栄光を帰します。

交読詩編 神からの呼びかけと人の応答です。

讚美歌 神を讚美します。

聖書 神の御言葉を読みます。

説教 御言葉の解き明かし。神様は私に何を語りかけて下さるのかを思いながら読み、しばらく黙想しましょう。

祈り 御言葉を心に留め、主に祈ります。

使徒信条 信仰を告白します。

讚美歌 御言葉への応答・感謝の讚美です。

主の祈り イエス・キリストの教えて下さった祈りで終わります。

献金 振替口座 01110-0-55253

◆説教「教えるキリスト」

5章で主イエスは山上の説教を教えられた。それは律法学者やファリサイ派たちの教えとは違い、神の国について、神の義についての権威ある、新しい教えであった。しかしだからといって、主イエスが来られたのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っはならない。廃止するためではなく、完成するためである。つまり、誰一人全うできなかった律法を成就して下さったのが主イエスなのである。

「律法と預言者」とは旧約聖書全体を意味する。即ち「イエスは旧約の完成者である」というのが、マタイ福音書を貫くイエス理解である。

また18節に、すべてのことが実現し、天地が消えうせるまで、律法（ここでは旧約全体を指す）の文字から一点一画も消え去ることはないと言われる。18節で、主イエスによる救いが成就するまで律法は効力を持つと述べられていたが、19節ではそれを報いのテーマと関連させている。だから、これらの最も小さな掟を一つでも破り、そうするようにと人に教える者は、天の国で最も小さい者と呼ばれる。しかし、それを守り、そうするようには、天の国で大いなる者と呼ばれる。

20節では「あなたがたの義」と律法学者やファリサイ派の義が対比されて、主イエスの見解が示されている。「律法学者」は律法の解説者であり、教師のこと。「ファリサイ派」は「分離された者」の意で、律法を最も形式的に厳密に守る正統派敬虔主義者たちのこと。あなたがたとは、主イエスの呼びか

けに答えて彼に従う者たちのことである。あなたがたの義とは何か。主イエスによって律法と預言者つまり旧約聖書が成就することでもたらされる神との新しい関係の源であり、主イエスによってもたらされた神の国に入るための条件である。

主イエスが問うのは外面的な実行に先立つ、内面的な姿勢である。外面に現れる行為よりも先に、その行為の源となる心のありようが問われるのである。「義」とは、正しさである。あなたがたの正しさが、律法学者やファリサイ派の人々よりもまさっていなければ、天国には行けないと主イエスは言われる。主イエス・キリストは、邪悪と背教のために失われていた完全な福音を回復され、誤った教えを正し、旧約聖書の預言者によって伝えられた預言を成就された。これからも主イエスの教えに従って信仰者としての道を歩んでいこう。

◆祈り

旧約の完成者であり、新しい神の国の教えを下さり、私たちに罪から救い出して下さった復活の主イエス・キリストに感謝の祈りを捧げる。新型コロナウイルスが一日も早く終息して、私たちが日常を取り戻すことができますように、引き続きキリエ・エレイソン(主よ、憐れみ給え)と祈りましょう。

■教会 2月7日(日)まで家庭礼拝形式になります。

■教会学校 1月31日(日)9:00

お話 廣岡淳子姉 奏楽 田中祐子姉

2月7日(日)9:00

お話 岡本聖美牧師 奏楽 中嶋順子姉

■今後の主な予定

○教会学校 2月6日(土)

13時~15時半 えいごであそぼう

○幼稚園 2月9日(火)王子動物園